

孫はめんこい宝物



「うちのめんこ」

遠藤 幸一さん
(蒼生くん、蒼佑くんの祖父)

3人の孫は、3人3様で性格もバラバラ。ですが、それぞれに孫にいつも元気をもらっています。蒼生は弟が産まれてから、やきもちをやいて周りにストレスをぶつけていた時期もあったようですが、最近は保育園であった出来事を話してくれたり、兄弟3人で遊んでいる様子を見てると、ここ数年で本当に「お兄さん」になったなあと感じます。蒼佑は、末っ子ということもありとにかく甘え上手。たまに、一緒にお風呂に入ったり、着替えを手伝ったりしますが、いつまでこんな事をさせてもらえるのかと、少し寂しい気にもなります。孫たちの成長は本当に嬉しく、これからどんな成長をしていくのか影ながら見守っていきたいと思います。

『仲良し男子3兄弟』

高橋 三津子さん
(幸生くんの祖母)

つぼみ組からお世話になっている孫の幸生は、2人のお兄ちゃんが小学生になってから我が家の宝物として誕生しました。毎日仕事で忙しい両親に代わり、園への送迎、お兄ちゃん達の習い事への送迎、家事でバタバタの日々。それでも孫たちの無邪気な笑顔を見ると元気と力が湧いてきます。

時にお兄ちゃん達をきつく注意していると「しーっ」、「だいじょうぶ。」と言って私の顔をじっと見ます。「あー、ごめんごめん、もっと優しくだったね。」思わず苦笑い。そして、お兄ちゃん達のところへ行って頭をなでなでし、3人で笑ってふざけます。こんな光景が我が家を温かく包みます。園での様々な経験、学びが優しい心を育ててくれているのだと感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも「幸生」という名のように、周りを幸せな気持ちにできるよう、自らも幸せを感じながら成長してほしいと願っています。



「感謝」

父母の会 会長 大富 健司

今年度は、コロナウイルスの影響で行事等が制限され例年通りできない状況でした。会長として何もできず、子供達にとっては寂しい1年になってしまい申し訳なく終わってしまう年です。

早いもので園生活も間もなく終わろうとしています。北部保育園には兄弟で7年間お世話になりました。一番目の兄と年が離れているので、久々の保育園で色々悩んだり時には励まされたりと先生方にはお世話になり感謝しきれません。

園長先生はじめ先生方のご協力ご支援があったからこそ安心・安全・そして楽しい園生活を送れたのではないかと思います。

卒園で寂しい気持ちでいっぱいですが、園で学んだ事や思い出を忘れずに小学校生活を送ってもらえたらと思います。

最後に、よき先生方に恵まれ感謝申し上げます。



人気の手作りおやつレシピ

さつま芋スティック

(幼児1人分程度)
さつま芋 40g、片栗粉 9g、砂糖 5g、揚げ油

《作り方》

- ①さつま芋は、皮をむいて茹でてつぶします
- ②①に片栗粉と砂糖を混ぜて、スティック状に形を作ります
- ③油で揚げてできあがりです

☆身近な材料、じゃが芋や南瓜でもできて簡単です
チーズを入れたり、色々なアレンジを楽しめます
☆丸い形にして揚げると、「まんじゅう風」にもなります



編集後記

今年は大雪、コロナ禍での生活のため息をつく日々でしたが、子どもたちは好きな遊びを楽しみ、行事に参加し、笑顔をたくさん見せてくれました。これからも子どもたちの輝いた笑顔が見られるよう、安心できる環境を整えていきたいと思っています。

記 釜田

ゆめポケット

社会福祉法人 米沢仏教興道会
興道北部保育園

米沢市塩井町塩野1476-1
TEL (0238) 21-5070 FAX (0238) 21-5128
HP <http://hokubu.yb-koudou.jp>
E-mail koudou-hokubu@yb-koudou.jp



第25号
2021.3.10



今年度は、コロナ感染症の収束を願いつつも、今も尚、感染のリスクに憂慮する日々が続いております。私たちは、学びを深める体験活動や経験値が成長に直結する子どもたちの生活を守り、その機会を奪わないようにしようと、「例年通り」の保育の見直しを行い、「今」できることを、職員間で知恵を出し合い、模索しながら、多彩な挑戦に取り組んで参りました。

そのような状況の中で、見せてくれる子どもたちの笑顔は、やはり何にもかえがたく愛しく、それだけで「大丈夫」と思え、次はどのように取り組んでいこうかと、前向きな気持ちになります。

この「大丈夫」はとても大切な気持ちであり、困難に立ち向かう時、一歩踏み出すための勇気と力になることを、切に感じているところです。子どもたちにも「大丈夫」と思える心を大切に育んでほしいと思っています。

そのために、私たちは、日々の保育の営みの中で、子どもたちが困った時に、たくさん対話し、一緒に向き合いながら、「大丈夫」と思いながら、前に進んでいける経験を、積み重ねていけるような丁寧なかわりを、常に心しておきたいと思っております。

いつか子どもたちが大人になり、様々な壁にぶつかったとしても「だいたい」を胸に、前を向いて自分の未来を切り開いてくれたら嬉しい限りです。

「だんごちゃん」
興道北部保育園 園長
板垣 雅子

さいた さいた みんなのえがお

新型コロナ感染のニュースから始まった令和2年度のスタートとなりました。感染予防対策として、生活面での環境や行事の在り方など、例年とは違った園生活となり、保護者の方や地域の方のご協力をいただきました。

そのような中でも子どもたちは「元気いっぱい」に様々な表情をみせながらたくさんの経験をし、たくさんの知識を得て、保育者や友だちと関わりながらいきいきと過ごしてきました。

「楽しい」「おもしろい」「やってみたい」など心が動く様々な体験を通して、たくさんの笑顔の花を咲かせ、心の豊かさを育てています。



たくさんの出会いがあって

ほっこり



友だちと一緒に
にっこり



キヤハハ!!
おみず出てきたよー!



オバケさん、
おなじだねー!

ほらー
みてー!!



不思議なもの新しい発見
びっくり



「なにこれ〜(コンニャク)!!」

様々な経験から考え試してどうなるか

じっくり



「わたしもできる!」



自分のできる力で
はりきり



「いーち、
に〜...」

チューリップの分解

